

安全データシート

作成日 2020年 2月20日

改訂日 2022年 5月 9日

1.製品及び会社情報

製品名： サンデックスS-500J用増粘剤

会社名： オバナヤ・セメントテックス株式会社
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号： 0594-72-6488
FAX番号： 0594-72-6253
担当部門： 製造部 工場管理課
整理番号： M1105

2.危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性： 区分1
生殖毒性： 区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露)： 区分2、区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復暴露)： 区分1

GHSラベル要素



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気
重篤な眼の損傷
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量	CASNo.	化審法
ウレタンポリマー	約 50%	非公開	—
エタノール	約 40%	64-17-5	(2)-202
イソプロピルアルコール	2.4%	67-63-0	(2)-207
1-プロパノール	4.8%	71-23-8	(2)-207

4.応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当を受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。

5.火災時の措置

- 消火剤：霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。
- 特有の危険有害性：火災によって刺激性、有毒又は腐食性のガスを発生するおそれがある。消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
- 消火方法：関係者以外は安全な場所に退去させる。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
火災の場合、安全に対処できるならば漏洩を止めること。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：関係者以外は近づけない。
回収が終わるまで十分な換気を行なう。
着火源を取除くとともに換気を行なう。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
密閉された場所に入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項：漏出した物が下水、排水溝、河川に流出するのを防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材：不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて容器に回収する。
乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。
清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。
漏洩物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
- 二次災害の防止策：着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
危険でなければ漏れを止める。
全ての発火源を取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意：粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／証明機器／その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋及び保護面を着用すること。指定された個人用保護具を使用すること。
- 保管上の注意：換気の良い涼しい場所で、容器を密閉して保管すること。

8.暴露防止及び保護措置

- 管理濃度：(イソプロピルアルコール) 作業環境評価基準(2004) <= 200ppm
- 許容濃度：

成分名	許容濃度
イソプロピルアルコール	日本産業衛生学会(1987)(最大値) 400ppm 980mg/m ³ ACGIH(2001)TWA 200ppm、 STEL 400ppm(眼及び上気道刺激、中枢神経系損傷)
エタノール	ACGIH(2008)STEL 1000ppm(上気道刺激)
1-プロパノール	ACGIH(2006)TWA 100ppm(眼及び上気道刺激)

- 設備対策：適切な換気のある場所で取扱う。排気／換気設備を設ける。
洗眼設置を設ける。
- 呼吸器の保護具：呼吸用保護具を着用すること。空気呼吸器(SCBA)を着用する。
- 手の保護具：保護手袋を着用する。
- 眼の保護具：側板付普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。
保護眼鏡／顔面保護具を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具：保護衣を着用する。
- 適切な衛生対策：取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。

9.物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	白濁色
臭い:	特有臭
沸点又は初留点:	78℃ (ウレタンポリマーを除く混合液)、100℃ (ウレタンポリマー)
引火点:	14.5℃ (ウレタンポリマーを除く混合液)、引火せず (ウレタンポリマー)
自然発火点:	371℃ (ウレタンポリマーを除く混合液)、データなし (ウレタンポリマー)
溶解度:	水に対して混和する。
密度及び/又は相対密度:	0.93

10.安定性・反応性

安定性:	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。常温、常圧で安定。
反応性:	蒸気は引火して爆発するおそれがある。
混触危険物質:	酸化性物質

11.有害性情報

急性毒性 経口:	[日本公表根拠データ] (イソプロピルアルコール) rat LD50=5480 mg/kg (EHC 103,1990) (1-プロパノール) rat LD50=2200 mg/kg (環境省リスク評価第6巻,2008)
急性毒性 経皮:	[日本公表根拠データ] (イソプロピルアルコール) rabbit LD50=12870 mg/kg (EHC 103,1990) (1-プロパノール) rabbit LD50=4000 mg/kg (PATTY 5th,2001)
眼に対する重篤な 損傷性/刺激性:	[日本公表根拠データ] (エタノール) ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2),1998 et al) (イソプロピルアルコール) ラビット (PATTY 6th,2012 et al) (1-プロパノール) ラビット 重度の刺激性 (ACGIH,2004 et al)
感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	[日本公表根拠データ] (エタノール) cat.1A (ACGIH 7th,2012;IARC, 2010) (エタノール) IARC - Gr. 1: ヒトに対して発がん性がある (イソプロピルアルコール) IARC- Gr. 3: ヒトに対する発がん性については分類できない (エタノール) ACGIH-A3(2008): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明 (1-プロパノール) ACGIH-A4(2006): ヒト発がん性因子として分類できない (イソプロピルアルコール) ACGIH-A4(2001): ヒト発がん性因子として分類できない

[会社固有データ]
(エタノール)

IARC では、「アルコール性飲料としてヒトに発がん性がある。」としてグループ1に分類しているが、これはアルコール性飲料を習慣的に摂取するヒトの多数の疫学調査に基づき、アルコール性飲料と食道系及び肝臓のがんの因果関係を認めた為である。

他方、ACGIH は、主として作業環境での有害性因子としてエタノールを A3(確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明の物質)に分類している。本製品に用いるエタノールは、飲用でなく、多量のばく露を想定する必要もないため、エタノール起因の発がん性を区分外とした。

生殖毒性：	[日本公表根拠データ] (エタノール) cat.1A;human:PATTY 6th,2012 (イソプロピルアルコール) Cat.2;PATTY 6th,2012 (1-プロパノール) cat.2;rat:ACGIH,2007
	[会社固有データ] (エタノール) 妊娠期に大量かつ慢性的にアルコールを摂取したアルコール依存症の女性と関連して、胎児性アルコール症候群と称される先天性の奇形を生じることが知られているが、産業的な経口、経皮、吸入ばく露による胎児性アルコール症候群の報告はない。また、EU でも生殖毒性がある物質としては分類されていないため、エタノール起因の生殖毒性を区分外とした。
催奇形性：	データなし
特定標的臓器毒性	
(単回暴露)：	[区分1] [日本公表根拠データ] (イソプロピルアルコール) 中枢神経系、全身毒性(環境省リスク評価第6巻,2005) [区分3(気道刺激性)] [日本公表根拠データ] (エタノール) 気道刺激性(PATTY 6th,2012) (イソプロピルアルコール) 気道刺激性(環境省リスク評価第6巻,2005) (1-プロパノール) 気道刺激性 [区分3(麻酔作用)] [日本公表根拠データ] (エタノール) 麻酔作用(PATTY 6th,2012;SIDS,2005) (1-プロパノール) 麻酔作用(PATTY 6th,2001)
特定標的臓器毒性	
(反復暴露)：	[区分1] [日本公表根拠データ] (エタノール) 肝臓(DFGOT vol.12,1999) (イソプロピルアルコール) 血液系(EHC 103,1990) [区分2] [日本公表根拠データ] (エタノール) 中枢神経系(HSDB, Access on Jun.2013) (イソプロピルアルコール) 呼吸器、肝臓、脾臓(EHC 103,1990)
誤えん有害性：	データなし

12.環境影響情報

水生毒性(急性)：	成分データ [日本公表根拠データ] (エタノール) 藻類(クロレラ) EC50=1000 mg/L/96hr (SIDS,2005) (イソプロピルアルコール) 魚類(メダカ) LC50>100 mg/L/96hr (環境庁生態影響試験,1997) (1-プロパノール) 甲殻類(ミジンコ) LC50=3025 mg/L/48hr (EHC102,1990)
-----------	--

水生毒性(長期間) :	成分データ [日本公表根拠データ] (エタノール) 甲殻類(ニセネコゼミジンコ属)NOEC=9.6 mg/L/10days (SIDS,2005) (イソプロピルアルコール) 甲殻類(オオミジンコ)NOEC>100 mg/L/21days(環境庁生態影響試験, 1997)
水溶解度 :	(エタノール) 混和する(ICSC,2000) (イソプロピルアルコール) In water, infinitely soluble(25°C)(HSDB,2013) (1-プロパノール) 100g/100ml (PHYSPROP_DB,2005)
残留性・分解性 :	(エタノール) 急速分解性あり(BOD による分解度:89%(既存点検,1993)) (イソプロピルアルコール) 急速分解性あり(BOD による分解度:86%(既存点検,1993))
生体蓄積性 :	(エタノール) log Pow=-0.32 (ICSC,2000) (イソプロピルアルコール) log Pow=0.05 (ICSC,1999) (1-プロパノール) log Pow=0.25 (ICSC,1999)
土壌中の移動性 :	データなし
オゾン層への有害性 :	データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 :	環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装 :	廃棄する場合は内容物を完全に除去した後処分する。

14.輸送上の注意

注意事項 :	容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下のないよう積込み、荷崩れ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
国連分類 :	クラス3
国連番号 :	1987
PG:	II
応急措置指針番号 :	127
陸上輸送:	消防法、労働安全法に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送:	船舶安全法に定められるところに従うこと。
航空輸送:	航空法に定められるところに従うこと。
環境有害性:	MARPOL 条約付属書Ⅲ-個品有害物質による汚染防止 海洋汚染物質: 非該当
バルク輸送における MARPOL 条約附属書Ⅱ 改訂有害液体物質及び IBC コード	
有害液体物質(Y類)	1-プロパノール
有害液体物質(Z類)	イソプロピルアルコール、エタノール

15.適用法令

労働安全衛生法 :	有機溶剤中毒予防規則に該当しない。 名称等を表示すべき有害物(法第 57 条) エタノール、イソプロピルアルコール、1-プロパノール 名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2) エタノール、イソプロピルアルコール、1-プロパノール
-----------	--

別表第1危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)
危険物・引火性の物

化学物質管理促進法

(PRTR法): 該当しない

消防法: 危険物第4類 引火性液体アルコール類 危険等級Ⅱ

化審法: 優先評価化学物質(法第2条第5項)

イソプロピルアルコール

船舶安全法: 引火性液体類

航空法: 引火性液体

16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したのではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。
